

# 2025年度事業報告

## 1. 保育従事者の「安定した生活」を支える報酬制度

物価高対策など、多くの措置がなされました。保育従事者に対して、臨時の手当支給ができた園もあります。公定価格が上がり、初任給が極端に低い園も無くなったと思います。唯一、懸念されるのは、小規模事業園に対して、令和8年度に向けて、認可保育園同様、ローテーション保育士雇用費の設置を求めてきましたが、横浜市から提出された代替案では減収となる園が出てくるのではないかと危惧しております。小規模保育所の収支がどう変化するか引き続き注視し、必要であれば対策を講じることをお願いいたします。

## 2. 「仕組みと制度の見直し」で現場の負担を減らす

①入所キャンセル問題について 引き続き、令和7年度も、0歳児の入所のキャンセルを防ぐため、何かしらの対策を施してほしい旨、横浜市にお伝えしてきましたが、未だ決め手となる案はなく、非生産的な業務だけが現場に残る結果となりました。入所のキャンセル問題の核心は、この園を第一希望とした児童が落選し、第二希望以下の園に入所が決まった場合、第一希望園に空きが出て二次募集に応募できないルールにあります。ある小規模保育園において、見学にきていない双子の0歳児が、入所決定後に入所を辞退したため、3人枠の内、2人が空席となり、運営の見通しが立たなくなった例もあります。既に、コンピュータによる機械的な入所選考には限界があり、選考には、もう少し人間の手がかからないと、保育現場の疲弊につながりかねません。解決策としては、まず、0次選考として、1園のみ行きたい園の選考を園と役所で行ない、その後に、今の選考システムを利用すれば、問題は解決すると考えています。

②煩雑な事務処理について キーントーンによる事務処理ですが、そのソフトとしての能力に限界が来ているのか、もしくは、開発する人のコンセプトが元々間違っているのか、非常に使いづらく、現場の事務作業は決して楽になっていません。必要なものを見つける作業にも時間がかかり、処遇改善等加算の返金においては、内訳が分からず、賃金に関わることで、大きな問題となります。横浜市は、直ちに、処遇改善等加算の返金の内訳を明確にするべきです。現場では、この不毛な作業故、事務職員の勤務が継続できない状況も生まれています。

③保育士不足の原因について 就職相談会の開催は必要ですが、保育士不足の問題を抜本的に解決する手段にはなりません。「なぜ保育士になりたい人が少なくなったのか」その理由を考える必要があります。先日も養成校との懇談会を行いました。現状を嘆くばかりで、具体的な対策は見つかりません。園長ですら、突然職場を離れる時代、もう一

度、保育所の運営のあり方を考え直す時期だと思えます。この一年で感じた、保育士になりたい人が少なくなった要因と思われる状況を記します。

- 保育士のローテーションが複雑で、保育士の生活サイクルが確立しにくい。
- 保育以外の業務が多い。保育士＝「何でもやる」という印象から脱却できていない。
- 勤務12年目以降から昇給の目処が立たない。
- 諸外国に比べ職員配置基準が低い。
- 開園時間が長い。

### 3. 「豊かな経験」で感性を育てる学びの環境づくり

待機児童対策と称して、まだ、保育園開園の審査は続けられています。しかし、この時代に、待機児童を0にすることにどこまで意味があるのか、この一年疑問を抱くようになりました。横浜市との会合では、常にこの点をお話ししてきました。保育所が開園して、その地域の待機児童が0になったとしても、数年後には定員割れになった園が目立つ状況です。既に、幼稚園でのお預かり保育など、児童の受け入れ体制は十分に確保できたと思います。むしろ、今は、異常気象から子どもを守る、保育教育水準の向上にもう少し焦点を当て、予算を計上していくべきではないでしょうか。それを訴え続けた一年でした。

### 4. 「人間力」を育てる専門職としての人づくり

11月に企画しましたニューヨーク研修は大変有意義でした。子どもが暮らす環境が横浜に近いこと、現地保育従事者の悩みを私たちも共感できること、視察した3園のどれもが、同じ環境にありながらも、全く違う運営方針であったことです。ニューヨーク市は、各施設に運営方針・運営方法を大きく委ねています。各園で決定できる事項が多く、保育に選択肢が生まれます。自由な環境から想像力豊かに保育を組み立てていました。海外研修が今後も継続されることを願います。

### 5. 保育園、こども園、幼稚園の連携を現場から

幼稚園から幼保連携型認定こども園へ移管した園長先生を理事にお迎えしたことから、色々な角度から保育教育を考える機会に恵まれました。違う発想、違うルーツを持つ組織との交流が生まれれば、新たな発見は必ず生まれます。今後も、他団体との交流を深めてほしいと思います。

以上